

# 警 防 業 務 の 実 施 状 況

令和元年中、火災は39件発生しており、前年の35件より4件増加しています。

火災種別では、その他火災が26件と最も多く発生しており、次いで建物火災7件、林野火災3件、車両火災2件、船舶火災が1件の順となっています。

火災による損害額は43,043千円で、火災件数及び建物火災の損害額が増加したことにより、昨年よりも34,945千円多くなっています。

火災による死者及び負傷者は発生していません。

町別の火災発生件数は、日高町が9件で最も多く、次いで日高川町が7件、美浜町、由良町及び印南町が各6件、みなべ町が5件の順となっています。

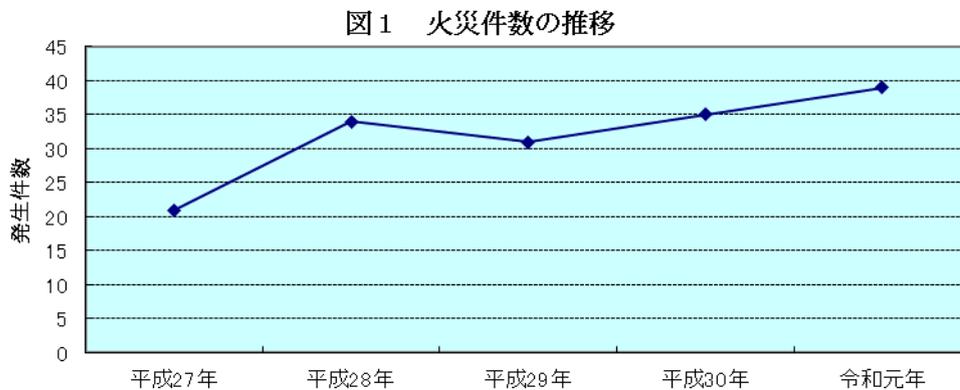
火災に準ずる災害（その他災害等）は、506件で昨年より15件増加しています。出動種別では、救急支援出動が459件と全体の約90.7%を占めています。

## 1 火災の概要(第1表～第10表)

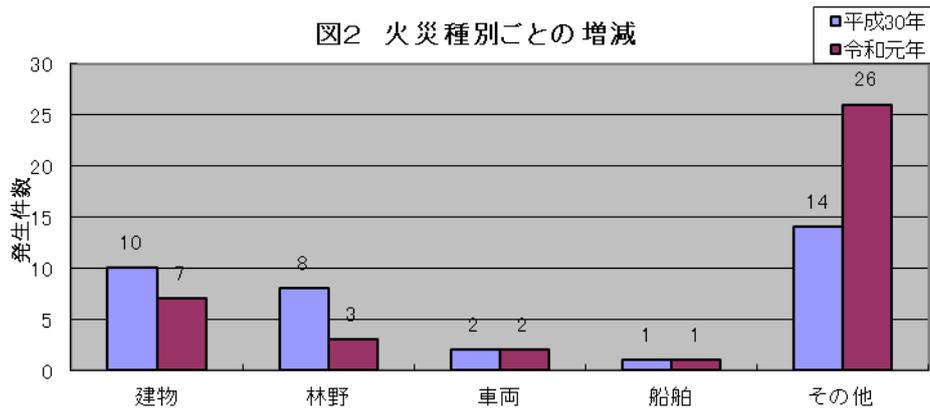
### (1) 火災件数の増減(第1表)

令和元年中の火災件数は39件で、前年に比べ4件の増加となっています。

(図1)



これを火災種別で見ると、建物火災が7件(3件減少)、林野火災が3件(5件減少)、車両火災が2件(増減なし)、船舶火災が1件(増減なし)、その他火災が26件(12件増加)となっています。(図2)



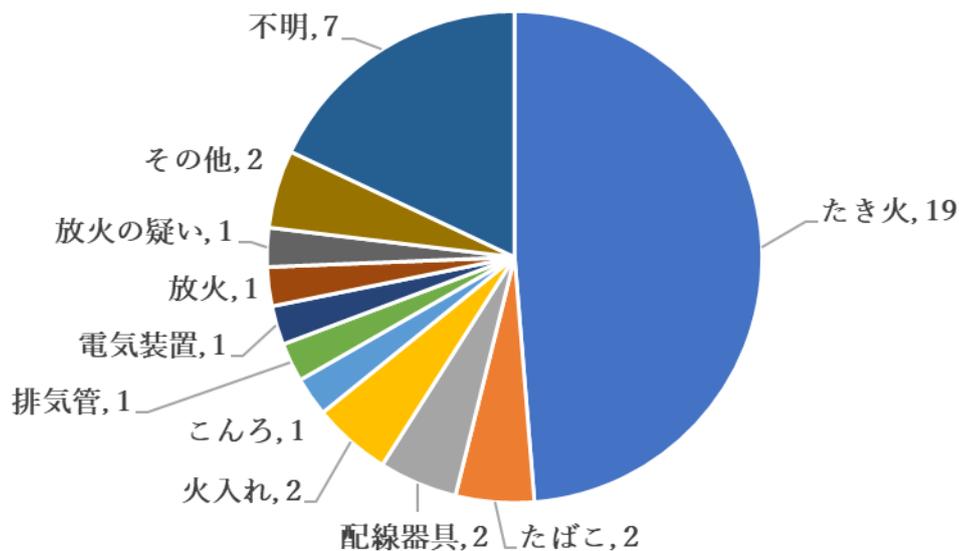
建物焼損棟数は10棟で、前年（12棟）に比べ2棟減少しているものの、建物火災による損害額は41,136千円と前年に比べ33,497千円の大幅な増加となっています。

人的被害は、昨年応急消火義務者3名の死者と2名の負傷者が発生していますが、今年には死者及び負傷者は発生していません。

(2) 出火原因（第2表）

出火原因は「たき火」が19件と最も多く5割近くを占めています。次いで「不明」が7件、「たばこ」、「配線器具」、「火入れ」「その他」が各2件、「こんろ」、「排気管」、「電気機器」、「放火」及び「放火の疑い」が各1件となっています。（図3）

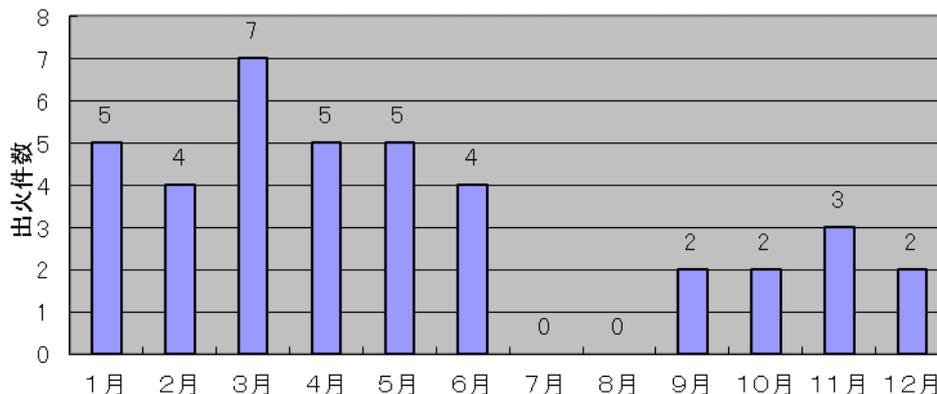
図3 出火原因割合（総件数39件）



(3) 月別の出火件数（第3表）

火災件数を月別にみると、3月が7件と最も多く発生し、次いで1月、4月及び5月が各5件、2月及び6月が各4件、11月が3件、9月、10月及び12月が各2件で火災が発生していない月は、7月、8月です。(図4)

図4 月別出火件数(総件数39件)



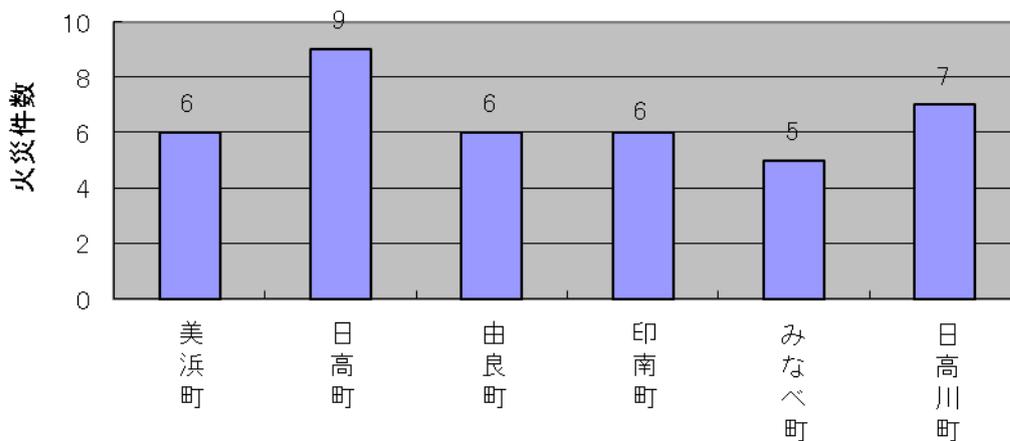
(4) 町別火災件数 (第4表・第5表)

火災件数を町別にみると、日高町が9件と最も多く発生し、次いで日高川町の7件、美浜町、由良町及び印南町の各6件、みなべ町の5件となっています。(図5)

出火率(人口1万人当たりの火災件数)でみると、日高町の11.4が最も高く、次いで由良町の9.7、美浜町の7.9となっています。

なお、管内全体の出火率は7.2で、平成30年中の全国の出火率(2.97)、和歌山県の出火率(3.45)を大きく上回っています。

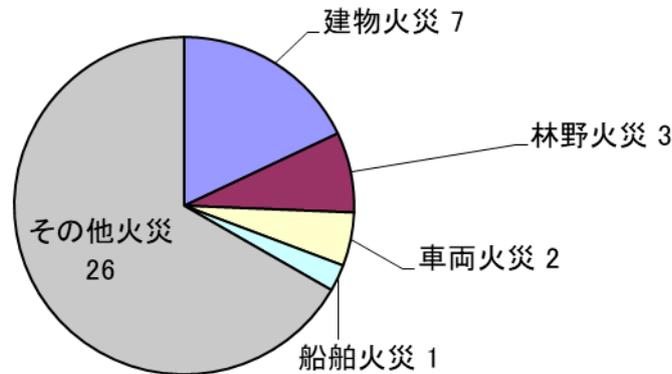
図5 町村別火災件数(総件数39件)



(5) 火災種別の割合 (第6表)

火災種別の割合についてみると、その他火災が26件（66.7%）で最も多く、次いで建物火災が7件（17.9%）、林野火災が3件（7.7%）、車両火災が2件（5.1%）、船舶火災が1件（2.6%）、となっています。（図6）

図6 火災種別の割合(総件数39件)



(6) 季節別火災件数（第7表）

火災件数を四季別でみると、春期が17件（43.6%）と最も多く、次いで冬期が11件（28.2%）、秋期が7件（17.9%）、夏期が4件（10.3%）の順となっており春期の火災発生が約4割を占めています。

(7) 時間帯別火災発生件数（第8表）

火災件数を時間帯別にみると、11時から12時が8件と最も多く、次いで13時から14時が7件、14時から15時が4件、9時から10時及び10時から11時の時間帯が各3件、3時から4時、15時から16時、16時から17時及び20時から21時までの時間帯に各2件発生しており、6時から7時、12時から13時、17時から18時、18時から19時、21時から22時及び22時から23時の時間帯に各1件火災が発生しています。

(8) 天候別火災発生件数（第9表）

火災件数を天候別にみると、晴れた日に30件、曇りの日に9件発生しており、晴れた日の発生が全体の76.9%を占めています。

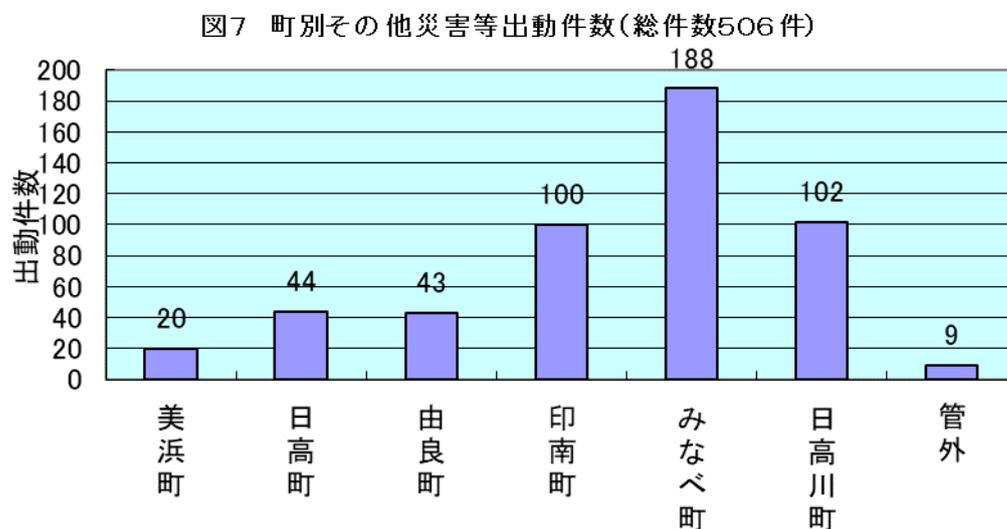
(9) 覚知別火災件数（第10表）

火災件数を覚知別にみると、消防専用電話（119番通報）による通報が32件で全体の82.1%を占め、そのうち25件が携帯電話による通報となっています。

2 火災に準ずる災害の出動件数（第11表）

令和元年中における火災に準ずる災害（その他災害等）の出動件数は506件で、前年と比較して15件の増加となっています。

内訳は、「救急支援」による出動が459件（90.7%）と最も多くなっています。町別では、みなべ町が188件と最も多く、次いで日高川町102件、印南町の100件となっています。最も少ないのは管外を除けば、美浜町の20件となっています。（図7）



### 3 署所別の出動状況（第12表・第13表）

#### (1) 火災の状況

火災の発生状況を署所別にみると、本署管内が23件（59.0%）と最も多く、次いで印南出張所管内が7件（17.9%）、南部出張所管内が5件（12.8%）、中津出張所管内が4件（10.3%）となっています。

#### (2) その他災害等の状況

その他災害等の発生状況を署所別にみると、南部出張所管内が188件（37.2%）で最も多く、次いで本署管内が130件（25.7%）、印南出張所管内が113件（22.3%）、中津出張所管内が75件（14.8%）となっています。